

株式会社ハヤカワ

http://kireizuki-hayakawa.jp/

所在地：福井市大願寺1-6-27

電話番号：0776-23-0037

代表者：榎波 寛治氏

資本金：1,000万円

従業員数：8名

事業内容：コインランドリーの店舗設計・設置、クリーニング店への資材供給およびコンサルティング、機器メンテナンス、介護用品販売など



機器のメンテナンスにも細やかに対応しています。



## ②役員・従業員承継

「異業種転職者」の能力見いだし  
事業承継へ

株式会社ハヤカワ

コインランドリーの店舗設計や設置、クリーニング店への資材供給やコンサルティング、機器メンテナンス、介護用品の販売などを行う株式会社ハヤカワ。同社の事業承継は、創業者である代表取締役会長・早川定明氏と、異業種から転職した代表取締役社長・榎波寛治氏との間で行われました。承継に当たりお二人はどのような準備を進めてきたのかを語っていただきました。

「元気なうちから準備を」「診断士の言葉も後押し」「エンジニアをしていました」と切り出した榎波氏。子どもが誕生をきっかけに帰福し引き続きコンピュータ関連の仕事を就いたものの、ワーカーとしてバランスを考えたのが転職のきっかけでした。

「下の子どもが双子で生まれたのが転機でしたね。当時のシステムエンジニアは朝早く夜遅い生活が当たり前で、妻の負担を考えると良い環境とはいえないなど。どうしようかと思っていたところ、義父である会長から入社の誘いを受けたのです」。

異業種からの転職であつたことから、割り当てられた工具や顧客先に訪問するルート営業から「まずは御用聞きのようない形で」仕事を覚え、顧客企業への機械搬入・据え付けなどの作業にも積極的に関わっていました。

そんな榎波氏の働きぶりを毎日見ていた早川氏。早い段階から「ゆくゆくは会社を譲ろう」という意思を持つてくれたのがありがたかったですね。非常に恵まれた環境だったといえます。承継に関する先行投資の必要性を認識し、近視眼的な損得に縛られずに準備を進めたことが円滑な社長交代につながったというわけです。

が返つてきました。

「大半の中企業では、社外での研修など学びの機会を得られることが少ないのでしょうか。当社の場合、会長がその機会を用意してくれたのがありがたかったです。非常に恵まれた環境だったといえます」。承継に関する先行投資の必要性を認識し、近視眼的な損得に縛られずに準備を進めたことが円滑な社長交代につながったというわけです。

「社長の仕事は『責任を取ること』『判断をすること』の2点に尽きます。当社でいえば『衛生的見地からクリーニングを通して地域社会のクリーン化を目指す』という経



事業承継の要諦を示します。

はりふさわしくないのではないか」と事業承継の要諦を示します。

當ビジョンとのブレがないかを意識し、即断即決で物事を進める必要があります。その為にも、今も異業種の方と積極的に交流し、学びの機会を得るよう心掛けています」。

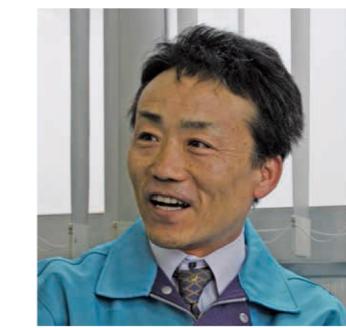
榎波氏の脳裏には早くも次事業承継のプランが描かれているようです。

「当社は100年企業を目指しており、この後3回は事業承継の場面が訪れるのではないかと想像しています。ですから、次世代のかじ取り役のイメージも今のうちから固めておかなければなりません」。

候補者選びに当たっては、時間管理能力をまず重視すると榎波氏。「しっかりとタイムマネジメントで約束を守ることは、社会人として最低限必要な能力ですから」。すでに次の代替わりの年齢を決めているとも明かし「目標とする年齢を設定すると、逆算した経営計画も立てやすいです」と話します。

傍らで聞いていた早川氏は「経営者に大切な資質は、仕事に対する熱念や熱意があるかということ」と榎波氏の言葉を補強。「例えば、トラブルが起きたときに自分で後始末ができる覚悟があるかどうか。社長の言葉とも重なりますが、社長の仕事は『責任を取ること』で、トラブルが起きた時に逃げ出

感じていまして、75歳をめどに代わりできればと考えていました。会社 자체が常に時代に追いついていくために身を引く覚悟を早めに固めておかなければいけないと思つたのです」。20年以上の付き合いという中小企業診断士から「気力や体力があるうちから事業承継の準備を始めてしまは」と勧められたのも後押しさになつたのだといいます。

「学びの環境」を設け  
円滑な承継につなげる

榎波 寛治 氏



早川 定明 氏